

みんなで作ろう

2011/10/1

里山自然公園

N011



発行 信太山に里山自然公園を求める連絡会
連絡先信太の森FANクラブ 0725-44-8404

e-mail hanaizm@ares.eonet.ne.jp

— 請願特集 —

請願採択される 9月30日和泉市議会

信太山丘陵の市有地（16ha）

自然環境の保全に関する請願書

（請願の趣旨） 「生物多様性基本法」、「和泉市環境基本条例」等にとり、信太山丘陵の市有地（16ha）の野生生物の生態系を保全し、里山的自然環境の保全を図ること

4月以来取り組んできた、「信太山丘陵の自然環境の保全に関する請願署名」は10,250筆（提出時）という当初予想以上の多数の賛同を得て、去る8月24日和泉市議会議長へ提出しました。また、同時に進めてきた和泉市長への要望署名も同日辻市長へ提出しました。その詳細は「里山自然公園NEWS」10号で報告しました。

山千代重榮連絡会会長を請願代表者として提出した請願は、9月市議会で審議され、9月30日の本会議において賛成多数で採択されました。

暑い夏、署名に取り組んでいただいたみなさん。そして、快く署名に賛同していただいたすべてのみなさんに心からの感謝を込めてご報告いたします。

都市環境委員会では不採択

本会議では逆転採択を

請願は、まず都市環境委員会に付託され9月15日審査に付されました。市の条例改正を受けて9月議会より請願者に「意見陳述」の機会が与えられることとなり、紹介議員3名（早乙女実 小林昌子、大橋涼子各議員）と共に参考人として山千代会長と花田事務局長が委員会に出席しました。

わずか5分間でしたが山千代会長が趣旨説明を行い、審査が始まりました。参考人や紹介議員への質問は一切無く（質問を想定しいろいろ準備していましたが肩すかしをくらったようでした）、もっぱら、開発計画（北部公共施設事業）

に対する質問に集中し、環境保全課の「該当地は保全が必要である」という発言に対して、それ以上の質問も行われませんでした。

委員より「該当地に絶滅危惧種があることなど何時知ったのか」という核心の質問もありましたが、担当者は「分からない、調べる」という状況でした。

委員会採決の結果、7名の議員の内、矢竹（共産）、原口（公明）赤阪（公明）の3名の議員が賛成起立でしたが、過半数に1名足らず、少数否決、不採択となりました。（起立しなかった議員の中に或いは保留という判断の議員もいたと思いますが、委員会の採決方法は賛成だけ

を数え、賛成、保留、反対という一般的な民主主義のルールを採用していません。）

委員会室は議員や市民の傍聴で溢れ、信太山丘陵を追跡取材しているTVカメラもまわりました。（関西TV・アンカーが取材を続けています。10月の中頃に放映（？）の予定です。）

賛成していただいた議員へは深い敬意をおぼえ、同時に、委員会審議に対する不十分さや自然保護は大切だと云いつつ賛成起立しない議員の不条理に怒りに近い感想を持ちました。

意見陳述

参考人の山千代でございます。

「信太山に里山自然公園を求める連絡会」の代表としてこの度の請願署名を呼びかけてきました。何故信太山丘陵保全の請願に至ったのか、その一端を述べさせていただきます。

私は団塊の世代として信太山の麓^{ふもと}に生まれ、信太で育った者です。

当時はまだ戦後の姿が色濃く残っていました。小中学校時代は、授業は勿論、遊びも信太山丘陵に行き、和泉山脈や北摂の山並み、大阪湾の向こうには六甲山を見渡せるという、素晴らしい環境のもとで育まれてきたと思っています。

その頃はパネルのように木綿をさらす風景もよく見られたものです。しかしながら昭和40年代に入り、高度経済成長と共に、丘陵周辺にも開発の波が押し寄せ、気が付くと我々が慣れ親しんだ丘陵地は、大きく変貌していました。その現実を目の当たりにした時は、本当にショックでした。一言で言えば故郷を無くした心境でした。

皆様もご存じのように、あの時期は国全体が経済優先で、日本列島改造ブームが起こり、そしてバブルへと突入していきました。我々も又経済優先の生活に組み込まれ、数量的価値を唯一の価値として生活して参りました。それにより我々は、多くの物を手に入れ、物質的に豊かになったかもしれませんが、それ以上に多くの物を失ってしまいました。それは数量で量れない物に対して、価値を見い出さなかったからです。我々が行った愚かな行為を、未来を担う子ども達に繰り返えさせてはいけません。

しかし、近年やっと開発一辺倒から、自然・文化・歴史等の重要性が認識され始めました。我々が今回請願している場所は、パネルで見えていただきますように大阪の平地部に残された唯一の自然緑地ともいえる場所となっています。また、開発が進んだ和泉市でも貴重な自然環境となっています。大阪大都市圏を代表する貴重な里山的自然環境を残し、パネルのような、これはラン科のトキソウといい環境省の絶滅危惧種に指定されていますが、このような希少な動植物が当該地域には30種も生きている大阪を代表する生物多様性豊かな場所となっています。このことは平成21年からの和泉市の調査でも明らかになっている通りです。

どうか、これ以上、信太山の自然破棄はやめてください。子どもたちが安全に自然と親しみ、貴重な体験ができる場として後世の子どもたちにぜひ残してやってください。

この春改訂された「第2次和泉市環境基本計画」でも信太山丘陵の自然環境について「保全に向けた取り組みを進めていくことが課題です」と述べています。

「生物多様性基本法」の精神「和泉市環境基本条例」等にのっとり、この地の保全を図ることをお願い致します。平成23年9月15日 信太山に里山自然公園を求める連絡会 山千代重榮

（発表時5枚のパネルを使用しました）

9月30日本会議

画期的 請願採択へ

本会議では、委員会報告を受け、賛否の討論が行われました。スポーツ公園推進派と目されている柏議員（五月会）が請願に反対の意見を述べ、「すべてスポーツ公園とは考えていない」「里山自然公園と共同で楽しんだら云い」などとこれまでよりトーンダウンの意見を発言。「この請願では信太5号線が不可能になる」「1万人（署名数か）もの人が緑を楽しんだらすぐに自然が枯れてしまう」などと根拠のない意見を述べました。

賛成討論は矢竹議員（共産党）と小林議員（レインボー）の二人が発言しました。

矢竹議員は「平成23年4月に改訂された和泉市環境基本計画では信太山丘陵の自然環境保全と適正な維持管理を課題としてあげており、請願者の要望と一致する。」「引き続き環境調査も必要だ」と述べました。

小林議員は、信太山丘陵の生物多様性にふれ、「近畿圏の都市環境インフラのグランドデザイン」「環境基本計画」「緑の基本計画」などや議会答弁などで今までもすでに信太山丘陵の保全の重要さは指摘されてきていると述べ、「生物多様性を守る課題は地方公共団体の責務である」「この地にスポーツ施設計画が実行されれば、先人はその思慮の浅きことを憂い、また子孫はその判断の過ちを嘆くことでありましょう」と述べました。（ブログ「昌子の広場」10月1日に全文掲載 <http://masako-hiroba.info/>）

反対派の意見に比べて賛成派の意見が根拠を示して科学的かつ論理的であったのが際立ちました。

3人の討論に続いて起立による採決が行われました。賛成者は期待を裏切らず22名中12名となり、僅差とはいえ過半数を制しました。議長の「本請願は採択されました」の声と共に傍聴席に拍手が起きました。

請願に賛成していただいた議員は共産党3名（早乙女、矢竹、岡、）公明党5名（原口、石

原、服部、赤阪、吉川）レインボー3名（大橋、小林、浜田）五月会1名（金児）の各議員でした。議会・議員という世界から日頃疎い私たちでも請願の賛否に対し様々な力が働くことをピンピンと感じました。

賛成いただいた各党、各会派、議員のみなさんの勇気と見識に深く敬意を表します。

市議会で請願採択は初めて

議会事務局の話では、請願採択は和泉市議会初めてとのことでした。かつて、趣旨採択（修正して趣旨を採択）したことが一度きり（鏡池保存にかかわり史跡指定についての請願）と聞きます。初めて委員会で請願者が意見を陳述したことも含めて市議会を市民の中にとという立場から見ると今回の請願採択は画期的な出来事といえます。



信太山も秋の訪れ モズの高鳴き

今後の対応は

請願は採択されました。「信太山丘陵の野生生物の生態系を保全し、里山的自然環境の保全を図ること」は、和泉市議会の意思として確定しました。ただ、これを受けて行政（市長）がどのように開発計画を変更し、自然環境を保全するか、否かは全く予断を許しません。

通常で考えれば、議会の意思を無視してことを進めることはあり得ないことですが、しっかり市民の力で監視せねばなりません。引き続き、信太山丘陵の保全を目指してみなさんと共に力を合わせていきましょう。

（文責花田）

みなさんのよろこびの声

採択を受けて事務局に届いた喜びの声

1, 今まで市の行政は、市議員が市の幹部に「あれせー これせー」と指示して和泉市を動かしていたように感じていました。会長さんや運営委員の皆様で市の方針を変えさせる、和泉市にとっては画期的な第一歩だと思いました。私も最後の方で参加させていただき、良い体験と勉強をさせていただきました。

和泉市 K氏

2, 良報をありがとうございます。KONC運営委員会メンバーに転送させていただきます。委員会で否決という厳しい力関係をのりこえての採択とのこと、ご苦勞されたことと存じます。1万人の力は大きいですね。市政が良い方向に舵をきることをお祈りします。

関西自然保護機構 Y氏

3, 良かったですね、先日観察会に参加させていただき、コバナノワレモコウ・コモウセンゴケ・ホソバリンドウなどの多数の野草を楽しませていただきました。あの土地がそのまま残ることで、みなさんの活動がますます責任重大になり大変でしょうが、ご活躍を期待します。私も、時々、貴重な湿原・草原の野草を観察させてもらいにお伺いします。ありがとうございました。

野鳥の会 大阪支部 H氏

4, 大変うれしいメールです。おめでとうございます。関係者の皆様の努力のたまものです。今後は、地元の方の協力を得ながら野鳥や植物などの自然観察会をして多くの方々に信太の自然の貴重さを知っていただくようなイベントを企画しましょう。

野鳥の会 大阪支部 M氏

5, ご報告ありがとうございます。良かったですね。みなさんが頑張ってくれたからです。私もできる限り協力させていただきます。これからも頑張ってください。朝晩、少し冷えてきました、お体をご自愛下さい。

府会議員 K氏

6, メール受け取りました。採択！ おめでとうございます。多くの賛同者が声を出して喜んでる姿が目に見えてきます。本当におめでとうございます。そしてお疲れさまでした。それと教えてください、請願が採択されたということは、16haは開発中止、保全が確定と理解してよろしいのでしょうか？それとも、まだ他に油断できないことがあるのでしょうか？

和泉市 M氏

7, おめでとうございます。みなさんの熱意が報われ、本当に良かったです。和泉市の市議会の見識に敬意を表したいと思います。

堺市 S氏

8, おめでとうございます。モニタリングサイト1000を信太山にお願いして、立ち入りの了解を得るために市役所の方とお話しした際には、にべもありませんでした。これから集積されるモニタリングのデータが、信太山の保全の祥子となればと願っています。

東京 野鳥の会本部 H氏

9, (前略) 15日の委員会では少数で否決されましたが、本会議では逆転可決されました。12名が賛成してくれました。公明党の5人、共産党の3人環境派の3人保守系と目される女性議員1人でした。話によると、この女性議員は大いに悩んでいたようで、棄権も考えていたそうです。最後は自分の良心に従って賛成に回ったようです。今回、保守系と目される議員のほとんどが反対した訳です。やはり、開発重視で、建設業界とのつながりを感じさせます。今回のことで、市当局による開発はブレーキがかけられたこととなります。しかし、今後とも成り行きを注視していく必要があります(略)

和泉市 T氏